

2015年3月期第1四半期決算 プレゼンテーション資料

2014年7月
大阪ガス株式会社

I. 15.3期第1四半期実績と見通し

インターネットを通じて定期的に経営情報を発信しています : 下記のURLで、決算短信、アニュアルレポート、説明会資料等を閲覧・ダウンロードすることが可能です。<http://www.osakagas.co.jp/company/ir/>

「見通し」に関する注意事項 : このプレゼンテーションには、将来の業績に関する見通し、計画、戦略などが含まれており、これらは現在入手可能な情報から得られた当社グループの判断に基づいております。実際の業績は、さまざまな重要な要素により、これら業績の見通しとは大きく異なる結果となりうることをご承知おきください。実際の業績に影響を与えうる重要な要素には、日本経済の動向、急激な為替相場・原油価格の変動並びに天候の異変等があります。

ガス販売量に関する注記 : 全て、基準熱量を45MJ/m³として、表記しています。

連結ガス販売量に関する注記 : 名張近鉄ガス・豊岡エネルギー・新宮ガスは12月決算です。

15.3期第1四半期決算のポイント

■ 概況

売上高	ガス販売量は減少したものの、LNG価格の上昇に伴うガス販売価格の上昇等により、 前年比6.6%増収の3,621億円 。
経常利益	時期ずれ差損が解消して差益に転じ、ガス粗利益が増加したこと等から、 前年比39.8%増益の423億円 。
四半期純利益	投資有価証券売却益の計上等により、 前年比75.1%増益の368億円 。

■ ガス販売量

家庭用	春先の気水温が前年より高めに推移したこと等から 前年比2.8%減少の530百万m³ 。
商・公・医療用	お客さまの省エネルギー推進や検針日数影響等により 前年比3.7%減少の299百万m³ 。
工業用	一部IPPの契約満了に伴い、大口ガス供給→自家使用にカウント方法を変更したこと等により、 前年比1.2%減少の1,017百万m³ 。

■ その他

投資および資産効率化

第1四半期の新規事業拡大投資 実行額は、意思決定済のアップストリーム案件を中心に 計201億円。
一方で、スペインのアモレビエータ発電所および大阪府都市開発の全保有株式を売却。

15.3期第1四半期ガス販売実績

45MJ/m ³		A. 15.3期1Q	B. 14.3期1Q	A-B	A-B/B(%)
個 別	お客さま数(千件)	7,145	7,092	+53	+0.7%
	新設工事件数(千件)	24	19	+5	+27.5%
	家庭用1戸当り販売量(m ³ /月)	30.0	31.0	-1.0	-3.3%
	家庭用	530	545	-15	-2.8%
	商・公・医療用	299	310	-11	-3.7%
	工業用	1,017	1,030	-12	-1.2%
	業務用計	1,316	1,340	-24	-1.8%
	他ガス事業者向け	110	107	+2	+2.2%
	(うち大口供給)	(1,140)	(1,160)	(-21)	(-1.8%)
	ガス販売量合計(百万m ³)	1,955	1,992	-37	-1.8%
連結ガス販売量	1,966	2,002	-36	-1.8%	

15.3期第1四半期実績 |

連結：億円、()内は連単倍率

	A. 15.3期1Q	B. 14.3期1Q	A-B	A-B/B(%)	備考
売上高	(1.21) 3,621	(1.22) 3,396	+224	+6.6%	ガス販売単価の上昇等
営業利益	(1.21) 393	(1.45) 280	+112	+40.1%	ガス粗利益の増加等
経常利益	(1.09) 423	(1.28) 302	+120	+39.8%	持分法投資利益の増加等
四半期純利益	(0.99) 368	(1.23) 210	+158	+75.1%	

	A. 15.3期1Q	B. 14.3期1Q	A-B
時期ずれ差損益 億円	24	-121	+146
原油価格 \$/bbl	109.5	107.8	+1.8
為替レート 円/\$	102.2	98.8	+3.4

15.3期1Q原油価格実績は、6月速報値までの平均。

15.3期第1四半期実績 II

連結:億円	A. 15.3期 1Q末	14.3期 1Q末	B. 期末	A-B	備考
総資産	16,808	15,824	16,683	+125	固定資産の増加等
自己資本	8,302	7,740	7,989	+312	
有利子負債	5,984	5,604	5,735	+248	
在籍人員	21,427	20,163	21,250	+177	
自己資本比率	49.4%	48.9%	47.9%	+1.5%	
D/E比率	0.72	0.72	0.72	+0.00	
	A. 15.3期1Q	B. 14.3期1Q		A-B	備考
設備投資	268	296		-28	
減価償却費	213	198		+15	
フリーキャッシュフロー	-93	-100		+7	

15.3期見通し 修正のポイント

■ 概況

第1四半期決算における投資有価証券売却益の計上を踏まえ、業績予想を修正。

**第2四半期の四半期純利益、通期の当期純利益は、
連結・個別ともに、4月発表の見通しよりそれぞれ85億円増加する見通し。
(売上高、営業利益、経常利益については変更なし)**

収支(億円)	第2四半期			通期			
	今回 見通し	当初 見通し	差	今回 見通し	当初 見通し	差	
連結	売上高	7,100	7,100	±0	16,055	16,055	±0
	営業利益	460	460	±0	995	995	±0
	経常利益	485	485	±0	1,000	1,000	±0
	四半期/当期純利益	395	310	+85	740	655	+85
個別	売上高	5,730	5,730	±0	12,865	12,865	±0
	営業利益	335	335	±0	620	620	±0
	経常利益	390	390	±0	675	675	±0
	四半期/当期純利益	370	285	+85	570	485	+85

II. 参考資料 (1)

15.3期第1四半期の売上高差異(対14.3期)

14.3期1Q → 15.3期1Q (差異)

3,396億円 3,621億円 (+224億円)

個別:+200億円

ガス売上高 +143億円
・スライド'影響 +188億円
・数量差等 -45億円

その他売上高 +56億円
・附帯収益 +51億円(主に電力)

連結-個別:+24億円

Jacobi Carbons※ +47億円
大阪ガスエンジニアリング -11億円

※2014年1月に買収した活性炭事業会社

15.3期第1四半期の経常利益差異(対14.3期)

14.3期1Q → 15.3期1Q (差異)

302億円

423億円 (+120億円)

+-の符号は利益への影響を表す。

個別:+151億円

連結-個別:-30億円

ガス粗利 +120億円
 ・スライド影響 +146億円
 ・数量差等 -25億円

その他事業利益 +30億円
 ・附帯利益 +33億円(主に電力)

費用増加 -18億円
 (減価償却費等)

営業外収支 +19億円
 (受取配当金増等)

Jacobi Carbons※ -11億円
 情報ソリューション事業 -6億円

※のれん償却費、棚卸資産のステップアップ(時価評価に伴う増加)による一時的費用増等を含めた連結利益への影響額を記載

15.3期第1四半期セグメント別実績

単位:億円	売上高		セグメント利益(*)		備考
	15.3期 1Q	14.3期 1Q (**)	15.3期 1Q	14.3期 1Q (**)	
ガス	2,697	2,551	231	134	売上:ガス販売単価の上昇 利益:時期ずれ差損が解消
LPG・電力・ その他エネルギー	565	537	122	97	売上・利益:電力事業等で増加
海外エネルギー	34	29	32	14	持分法投資利益増(北海油田等)
ライフ&ビジネス ソリューション	464	423	23	39	売上・利益:Jacobi Carbons新規連結 の影響(一時的費用増等により減益)
消去又は全社	-139	-145	6	6	
連結	3,621	3,396	417	293	

<再生可能エネルギー事業の取扱い>

14.3期まで:「環境・非エネルギーセグメント」→15.3期以降:事業内容に応じ、「LPG・電力・その他エネルギーセグメント」「海外エネルギーセグメント」に移管

<セグメント名称の変更>

15.3期以降:「環境・非エネルギーセグメント」の名称を「ライフ&ビジネス ソリューションセグメント」に変更

(*)セグメント利益=営業利益+持分法投資利益、(**)14.3期実績を上記新基準に組み替えた値

Design Your Energy 夢ある明日を

OSAKA GAS

III. 参考資料 (2)

(15.3期通期見通し詳細)

15.3期ガス販売見通し

4月発表の見通しから、変更ありません。

45MJ/m ³		A. 15.3期 見通し	B. 14.3期 実績	A-B	A-B/B(%)
個 別	お客さま数(千件)	7,162	7,136	+27	+0.4%
	新設工事件数(千件)	99	102	-3	-3.3%
	家庭用1戸当り販売量(m ³ /月)	31.4	31.3	+0.1	+0.4%
	家庭用	2,215	2,198	+17	+0.8%
	商・公・医療用	1,461	1,528	-67	-4.4%
	工業用	4,296	4,329	-32	-0.7%
	業務用計	5,758	5,856	-99	-1.7%
	他ガス事業者向け	479	469	+10	+2.1%
	(うち大口供給)	(4,929)	(4,988)	(-59)	(-1.2%)
	ガス販売量合計(百万m ³)	8,452	8,524	-72	-0.8%
連結ガス販売量	8,483	8,554	-72	-0.8%	

15.3期見通し I

連結:億円	15.3期見通し		C.14.3期	()内は連単倍率 差異		
	A. 今回	B. 当初	実績	A-B	A-C	
売上高	(1.25) 16,055	(1.25) 16,055	(1.24) 15,125	±0	+929	
営業利益	(1.60) 995	(1.60) 995	(1.64) 993	±0	+1	
経常利益	(1.48) 1,000	(1.48) 1,000	(1.53) 1,060	±0	-60	
当期純利益	(1.30) 740	(1.35) 655	(1.67) 417	+85	+322	
SVA ※1	415	329	30	+86	+385	
時期ずれ差損益	億円	47	47	-205	±0	+252
原油価格 ※2	\$/bbl	109.9	110	110.0	-0.1	-0.1
為替レート ※2	円/\$	104.3	105	100.2	-0.7	+4.1

※1 SVA(Shareholders' value added)=NOPAT- 投下資本×WACC

※2 2014年7月～2015年3月の前提は、原油価格110\$/bbl、為替レート105円/\$

15.3期見通し II

連結:億円	15.3末見通し		C. 14.3末 実績	差異	
	A. 今回	B. 当初		A-B	A-C
総資産	17,899	17,814	16,683	+85	+1,215
自己資本	8,327	8,242	7,989	+85	+337
有利子負債	6,604	6,604	5,735	±0	+868
在籍人員(人)	21,448	21,448	21,250	±0	+198
自己資本比率	46.5%	46.3%	47.9%	+0.3%	-1.4%
D/E比率	0.79	0.80	0.72	-0.01	+0.08

	15.3期見通し		C. 14.3期 実績	差異	
	A. 今回	B. 当初		A-B	A-C
設備投資	1,280	1,280	1,241	±0	+39
減価償却費	853	853	838	±0	+15
フリーキャッシュフロー	898	898	1,131	±0	-233
ROA	4.3%	3.8%	2.6%	+0.5%	+1.7%
ROE	9.1%	8.2%	5.4%	+0.9%	+3.7%
EPS (円/株)	35.6	31.5	20.0	+4.1	+15.5
BPS (円/株)	400.1	395.9	383.9	+4.2	+16.2

FCF=営業活動によるキャッシュフロー(税引後営業利益+減価償却費等非現金支出)－通常の設備投資による支出。 Design Your Energy 夢ある明日を

15.3期セグメント別見通し

4月発表の見通しから、変更ありません。

単位:億円	売上高		セグメント利益(*)		備考
	15.3期 見通し	14.3期 実績 (**)	15.3期 見通し	14.3期 実績 (**)	
ガス	11,485	11,195	380	320	売上:ガス販売単価の上昇 利益:時期ずれ差損の解消
LPG・電力・ その他エネルギー	2,965	2,610	405	453	売上:LNG・LPG・電力売上増など 利益:電力利益減など
海外エネルギー	165	133	80	82	
ライフ&ビジネス ソリューション	2,210	1,965	170	188	売上・利益:Jacobi Carbons 新規連結による影響など
消去又は全社	-770	-779	20	27	
連結	16,055	15,125	1,055	1,072	

<再生可能エネルギー事業の取扱い>

14.3期まで:「環境・非エネルギーセグメント」→15.3期以降:事業内容に応じ、「LPG・電力・その他エネルギーセグメント」「海外エネルギーセグメント」に移管

<セグメント名称の変更>

15.3期以降:「環境・非エネルギーセグメント」の名称を「ライフ&ビジネス ソリューションセグメント」に変更

(*)セグメント利益=営業利益+持分法投資利益、(**)14.3期実績を上記新基準に組み替えた暫定値

Design Your Energy 夢ある明日を

OSAKA GAS

年度見通しに対するリスク要因

■ 気温・水温

- 気・水温1度の変化に対して、家庭用ガス販売量は、春秋期約5%・夏期約6%・冬期約4%変動する可能性がある。

■ 原油価格

- LNG価格が原油価格にリンクすることなどから、原油価格1\$/bblの変化に対して、今年度第2四半期以降の経常利益は12億円変動する可能性がある。

■ 為替レート

- LNG価格が米ドル・円の為替レートにリンクすることなどから、為替レート1円/\$の変化に対して、今年度第2四半期以降の経常利益は13億円変動する可能性がある。

■ 原料費

- 原料費調整制度によって、中長期的には原料費の変動はガス料金に転嫁されるが、反映までのタイムラグや原料調達先の構成によって、業績に影響を与える可能性がある。

■ 金利

- 金利1%の変動に対して、今年度の連結営業外費用が年間7億円変動する可能性がある。